

# 公立大学法人公立ほこだて未来大学中期目標

函館圏公立大学広域連合

## 公立大学法人公立ほこだて未来大学中期目標

(平成20年2月22日函館圏公立大学広域連合議会議決)

### はじめに

公立大学法人公立ほこだて未来大学は、「人間」と「科学」が調和した社会の形成を希求し、高度情報社会に対応する深い知性と豊かな人間性を備えた創造性の高い人材を育成するとともに、知的・文化的・国際的な交流拠点として地域社会と連携し、学術・文化や産業の振興に寄与することを基本理念とする。

道南圏唯一の公立大学としての教育・研究の知見を生かし、地域文化の発信基地および経済活性化の支援基地としての役割を果たすという使命を自覚し、この理念の実現に向けて、次の基本的な目標を掲げ、これを達成するための中期目標を定める。

### 基本的な目標

#### 1 教育

幅広い知識に基づく総合的判断力と、豊かな感性に基づく高い創造性と多視点性を養い、実践的知識とコミュニケーション能力に重きをおいて、共同体としての社会と深く関わり、主導的な活動を通じて高度情報社会の発展に貢献できる人材を育成する。

#### 2 研究

システム情報科学分野の基礎的・応用的研究において、世界的水準を視野に入れた独創的な研究活動を推進し、社会の変化を先取りした戦略的な研究に努める。

#### 3 地域貢献

地域に開かれた大学として、教育・文化活動等における地域社会との連携を進めるとともに、産学官連携の推進による地域振興を図る。

また、国際的な学術交流と人材育成を通じて、国際交流の発展に貢献する。

#### 4 組織運営

迅速で柔軟な意思決定と点検・評価のシステムを整備し、効率的、効果的で透明性の高い組織運営を図る。

### 第1 中期目標の期間および教育研究上の基本組織

#### 1 中期目標の期間

平成20年4月1日から平成26年3月31日までの6年間と

する。

## 2 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するために、公立はこだて未来大学にシステム情報科学部およびシステム情報科学研究科を置く。

附属機関として、情報ライブラリーおよび共同研究センターを置く。

## 第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

### 1 大学全体としての理念・目標

高度情報社会において先導的な役割を担うために必要な基礎教育（リベラル・アーツ）の充実を図り、システム情報科学の専門分野の壁を越えて総合的・多角的に事象を理解し、活用できる能力を育成する。

さらには、複雑系科学、知能システム、情報システム、情報デザインの各専門分野を統合した新しい研究領域の開拓を図る。

### 2 教育に関する目標

#### (1) 学部教育の目標

学部における教養教育では、情報技術分野における高い専門性の教育の基礎として、基礎教育（リベラル・アーツ）を系統的、組織的に実施し、総合的なコミュニケーション能力、情報リテラシー、幅広い教養と多角的な視点から判断する能力を備えた学生を育成する。

学部における専門教育では、異なる領域をまたぐ学問・情報技術を中心とした最先端のトピックスに取り組むことを特色とし、さらに専門性を意識した教育を実施するためコース制を導入し、情報技術に根ざした21世紀の産業と研究開発を支える人材の育成を図る。

#### (2) 大学院教育の目標

大学院教育では、専攻分野に関する学術の理論および応用を研究し、さらに学際領域を基盤とした広い視野からの高度の専門的知識・能力および研究能力を有する人材を育成する。

#### (3) 入学者受け入れに関する目標

学部については、理数系分野に強い興味を持ち、本学の教育内容を十分理解し、本学において学ぶことに意欲のある学生を積極的に受け入れる。

大学院については、情報科学に関する基本的知識および専門的知識を有し、高度情報社会において活躍できる適性を持った多様な人材を選抜する。また、他大学や海外の大学の出身者、社会人の入学を促す方策を講じる。

(4) 教育体制に関する目標

基礎教育（リベラル・アーツ）の充実・強化を図るための組織を整備するとともに、専門教育においては現在のコース制の再編を図る。

先端的な教育を推進するための施設および設備の整備を図り、教育環境の充実に努める。

(5) 教育内容および教育方法に関する目標

学部教育では、本学が掲げる教育目標を達成できるよう、教員間での教育手法の検証を行い教育内容を常に改善することにより、学生が意欲を持って学べる魅力ある授業等を提供する。

大学院教育の博士（前期）課程においては、学部教育による基本原理の修得やその適用を踏まえ、講義、ゼミナール、特別研究等の教育研究指導を通じて、問題発見や解決の実践能力を養う。

大学院教育の博士（後期）課程においては、博士（前期）課程で修得した問題発見や解決の実践能力に基づき、特別ゼミナール、特別研究等による教育研究指導を通じて、システム情報科学における新原理や新たな問題解決手法の探究を行う。

(6) 教育の質の向上のためのシステムに関する目標

学生による授業評価や全学的なファカルティ・ディベロプメントの実施により教育の質の向上を図る。

(7) 学生支援に関する目標

担任教員制等の推進により、学生に対する学習支援を効果的に実施する。

学生生活の充実に向けて、学生の生活相談、進路相談、メンタルヘルスなどに的確に対応できる支援体制を整備するとともに、学生の課外活動への支援の充実を図る。

また、学生の就職活動への相談・支援体制を強化する。

### 3 研究に関する目標

(1) 研究水準および研究の成果等に関する目標

システム情報科学を中心とする分野で独創性に富む研究活動を推進し、世界的水準に照らして先導的な役割を果たす研究成果を目指すものとする。

さらに、研究成果を教育の質の向上に役立てるとともに、知的

財産として活用し、広く社会に還元する。

(2) 研究実施体制等に関する目標

幅広い研究分野から構成されている教員の特長を活かし、従来の研究体制では実現し得なかった、テーマごとに臨機応変な編成や研究費等の集中的な配分により、社会の変化を先取りした戦略的な研究を推進できる柔軟な研究実施体制を整備するとともに、共同研究センターを中心に、研究支援の充実を図る。

(3) 研究の質の向上のためのシステムに関する目標

学内公募型研究費の活用により、高度で先端的な研究や重点領域研究の推進を図り、研究成果報告による評価を行う。

4 地域貢献等に関する目標

(1) 教育活動等における地域社会との連携に関する目標

地域における各種教育機関との連携を推進し、地域の教育水準の向上を図るとともに、地域の知的創造や文化活動の交流拠点として、生涯学習の推進に努める。

(2) 産学官連携の推進に関する目標

活力ある地域づくりに貢献するため、大学が有する知識・技術・施設等を活用し、産学官連携等の一層の推進を図る。

(3) 地域貢献等の向上のためのシステムに関する目標

大学の使命としての地域貢献の重要性に対する認識を高め、実績の適切な評価を図る。

5 国際交流に関する目標

国際感覚豊かな人材を育成するとともに、世界水準の教育および研究活動を行うため、海外の大学や研究機関との交流・連携を推進し、地域の国際化への貢献を行う。

6 附属機関の運営に関する目標

(1) 情報ライブラリーの目標

教育・研究支援施設として相応しい図書、雑誌、資料等の充実・強化を図るとともに、地域の知的情報拠点として、公共図書館等との連携を進める。

(2) 共同研究センターの目標

産学官連携による研究を積極的に推進するとともに、研究成果の地域への還元に努める。

研究支援組織として、柔軟で横断的かつ機動性のある研究グループ形成を支援する体制を強化し、効果的な研究環境の整備を図

る。

地域および国内外の教育・研究機関との連携を進め、研究の質的向上を図る。

### 第3 業務運営の改善および効率化に関する目標

#### 1 運営体制の改善に関する目標

的確で機動的な大学運営を遂行できる運営体制を整備するとともに、戦略的な大学運営を行うため、企画立案機能の充実を図る。

#### 2 教育研究組織の見直しに関する目標

教育研究の進展や社会的要請に対応した教育研究体制の見直しを行う。

#### 3 教職員の人事の適正化に関する目標

教職員が最大限に能力を発揮できるよう、雇用、勤務、給与形態等の柔軟な運用を可能とする人事制度を構築する。

また、教職員の人事評価システムを整備し、評価に基づく適切な処遇を行い、業務に対する意欲の向上を図る。

#### 4 事務等の効率化・合理化に関する目標

事務組織の再編、見直しや外部委託の活用等により、事務の効率化・合理化を図る。

### 第4 財務内容の改善に関する目標

#### 1 外部研究資金その他の自己収入の確保に関する目標

安定的な財政基盤の確立を図るため、共同研究費等外部研究資金その他の自己収入の増加に努める。

#### 2 経費の抑制に関する目標

業務全般についての見直しを推進し、効率的な運営により、経費の節減を図る。

#### 3 資産の運用管理の改善に関する目標

資産の適切な管理を行うとともに、その効果的・効率的な活用を図る。

## 第5 自己点検・評価，情報公開等に関する目標

### 1 自己点検・評価の充実に関する目標

教育・研究，地域貢献，業務運営等に関する自己点検・評価を実施し，また第三者機関等による外部評価を受け評価結果を公表するとともに，大学業務運営の改善に反映させる。

### 2 情報公開等の推進に関する目標

大学運営状況等の情報を積極的に公開し，大学に対する地域社会の理解促進に努める。

## 第6 その他業務運営に関する重要目標

### 1 施設設備の整備等に関する目標

計画的な施設設備の整備・改修を進め，良好な教育研究環境の維持に努める。

### 2 安全管理に関する目標

学生や教職員の安全確保および健康管理の向上に努め，安全なキャンパスづくりを進める。また，学内の情報セキュリティ対策の充実を図る。

### 3 人権擁護に関する目標

学内における人権擁護に対する意識啓発を行うとともに，セクシュアル・ハラスメント等人権侵害の防止に努める。